

## 2 歳児親子通所事業（はぐくみ）

【利用対象】豊中市内に在住の、児童発達支援を受けるための受給者証をお持ちの支援が必要な2歳児の児童。



親子通所を通じて、生活経験を広げ、親子の信頼関係や人と関わる心地良さを感じ、子育ての悩みや喜びを一緒に感じあえるよう支援します。また、お子さまの「強み」「弱み」を保護者が理解し、お子様が持っている力を発揮しやすくなるように、環境やかかわり方を検討し、ご家庭での子育てに取り入れるための工夫を、保護者の方と一っしょに探していくことを大切にしています。

発達支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、排せつ、着替えなど、本人にとってわかりやすくなるような工夫を、保護者の方と一緒に考えます。まずはご家庭でのお子さまの様子をお伺いし、その内容を参考にして、工夫を検討していきます。</li> <li>・本人が取り組みやすい部分からスモールステップで取り組んでいきます。</li> </ul>	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな遊びや活動を、親子で安心して経験する場を提供します。</li> <li>・設定遊びや課題の時間を通して、おもちゃの遊び方や道具の使い方などを知る、体験する機会を作ります。</li> <li>・視覚、聴覚、触覚等の感覚を使った設定あそびを行います。 例：粘土・きれいな紙・楽器・風船・タオルブランコなど</li> </ul>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の見通しがわかりやすくなるよう、今の活動が終わったら次に何をするか本人に伝えるなど、見通しの伝え方を工夫します。また、見通しは本人がわかる方法（写真など）で伝えるようにします。</li> <li>・遊びなどの各活動の終わりについて、活動の区切りがわかりやすくなるような方法を探ります。例：次の活動の具体物や写真を提示する。10数えて活動を終えるなど。</li> </ul>	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション場面としては、まずは好きなもの（おもちゃや食べ物）を要求することから始め、伝わった！という成功経験を大切に、スモールステップで取り組みます。</li> <li>・自分の気持ちを相手に伝える方法については、本人の行動を観察して、一人ひとりに合わせて、どのような手がかりが有効か探っていきます。</li> </ul>	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のお友だちと場所やものを共有するような小集団の場で、大人が間に入りながら、本人が安心して過ごせるようかかわります。</li> <li>・朝の会や帰りの会など、お友だちと一緒に活動に参加する機会を作ります。 例：パラバルーン、風船、きれいな紙など</li> </ul>	
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就園等について、職員より情報提供をします。また、豊中市の「支援手帳」について、情報提供をします。</li> </ul>		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が子どもの行動を客観的に観察する機会を設定し、支援者からも子どもの特性について保護者にフィードバックします。</li> <li>・センターでの生活を通して、子供の課題や得意なこと、強みなどについて職員より情報提供します。</li> <li>・個別に面談の機会を設定します。</li> </ul>		
地域支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターや家庭、地域生活それぞれでの子どもの行動について共有する機会(面談など)を職員から提供します。</li> <li>・児童発達支援センター診療所や保健師などと連携します。</li> </ul>		